

堤内排水作業に総力

宮坂建設工業札幌支店

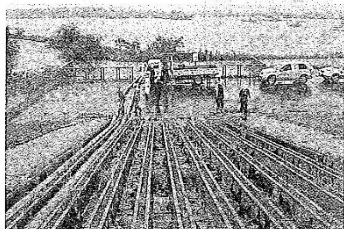
浦臼町内の石狩川樋門で

【宮見状】宮坂建設工業(株)帯広の札幌支店は、同社が災害協定を結ぶ空知管内浦臼町で、大雨で増水した石狩川の樋門付近の堤内排水作業を二十四時間体制で続けている。写真。

台風9号、11号の影響で同町内の石狩川本川は水位が急上昇。三軒屋樋門、中

州樋門のゲートを締め切り堤内への逆流を防いだが、堤内にたまった雨水も行き場を失う状況となった。

二十日の浦臼町の降水量は百三十七・五ミリ。同日午後四時前、町から緊急出動要請を受けた宮坂建設工業の作業員が午後六時に到着し、水中ポンプと発電機を設置、約三時間後に排水を



開始した。当初は三軒屋樋門だけだったが、その後、中州樋門での排水作業の要請があり、二十一日から二つの樋門付近で計四台のポンプを稼働させている。石狩川の水位が下がった二十二日にいったん水門を開放したが、翌二十三日に再び水位が上昇しゲートを閉鎖。町所有のポンプ三台と合わせ、二十四日午後六時現在も排水作業を続けている。同町への出動はこれまで

もあるが、今回が最大の規模。同支店は災害対策本部を設置し、現地で職員が二十四時間常時監視を続けている。

菊池章常務執行役員は「社内の防災意識は高く、災害が発生すれば即時に対

応する方針を徹底している」と強調。浦臼町は「迅速に対応していただき、助かっている」と感謝している。